

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
運動器・皮膚コース (皮膚科)	必修	1	3	2	月～金	波多野 豊 (皮膚科)
【科目名の英文】 Dermatology						
【授業の概要】 ・皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。						
【具体的な到達目標】 《構造と機能》 ①皮膚の組織構造を図示して説明できる。 ②皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。 ③皮膚の免疫防御能を説明できる。 《診断と検査の基本》 ①皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記法（Darier 徴候）、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト）を概説できる。 ②皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）を説明できる。 ③微生物検査法（検体採取法、苛性カリ<KOH>直接検鏡法）を概説できる。 《症候》 ①発疹 《疾患》 (1) 湿疹・皮膚炎 ①湿疹反応を説明できる。 ②湿疹・皮膚炎の疾患（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎）を列挙し、概説できる。 (2) 蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚搔痒症 ①蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。 ②多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。 ③皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。 (3) 紫斑・血流障害と血管炎 ①皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。 (4) 薬疹・薬物障害 ①薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。 ②薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。 (5) 水疱症と膿疱症 ①自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。 ②膿疱症の種類と病態を説明できる。 ③水疱症鑑別のための検査法を説明できる。 (6) 乾癬と角化症 ①尋常性乾癬、扁平苔癬と Gibert 薔薇色秕糠疹の病態、症候と治療を説明できる。 ②魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。 (7) 皮膚感染症 ①皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる。 ②皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。 ③皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。 ④梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。 ⑤皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。 ⑥後天性免疫不全症候群<AIDS>に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カボジ肉腫等）を列挙し、概説できる。 (8) 母斑・腫瘍性疾患・腫瘍 ①母斑・母斑症の種類を列挙できる。						

- ②皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。
- ③皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。
- ④基底細胞上皮腫（癌）の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
- ⑤有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。
- ⑥悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。

(9) 付属器疾患

- ①毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。
- ②爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。

《物理・化学的因子による疾患》

(1) 熱傷

- ①熱傷面積（9の法則）と深（達）度から熱傷の重症度を説明できる。
- ②熱傷の治療方針を概説できる。

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	皮膚オリエンテーション	皮膚の構造と機能 皮疹の見方（原発疹と続発疹）	皮膚科学・波多野	講義 実習
2	形成外科総論	形成外科全般について	皮膚科学・上原	講義
3	母斑・母斑症	母斑と母斑を伴う疾患群について	皮膚科学・石川	講義
4	細菌感染症	皮膚細菌感染症の診断と治療	皮膚科学・後藤	講義
5	薬疹	薬疹の種類、病態、診断、治療	皮膚科学・後藤	講義
6	紫外線による皮膚疾患	紫外線関連皮膚疾患の種類、診断、治療	皮膚科学・梅木	講義
7	蕁麻疹・多形紅斑等	蕁麻疹・多形紅斑及び皮膚アレルギー疾患の病態、 診断、治療	皮膚科学・梅木	講義
8	ウイルス感染症	皮膚ウイルス感染症の種類、診断、治療	皮膚科学・後藤	講義
9	梅毒・真菌症など	梅毒や真菌症や特殊な虫刺症とその関連疾患の診 断、治療	皮膚科学・後藤	講義
10	アトピー性皮膚炎・接触 皮膚炎	アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎の皮疹の特徴と病態 を学び、湿疹についての理解を深める	皮膚科学・波多野	講義
11	リンパ腫・乾癬・角化症	皮膚に特徴的な皮膚リンパ腫の診断と治療 乾癬及び角化症の病態、診断、治療	皮膚科学・波多野	講義
12	付属器疾患	ざ瘡、酒さ、脱毛症などの皮膚付属器疾患の種類、 病態、診断、治療	皮膚科学・波多野	講義
13	熱傷	熱傷の病態、診断、治療	皮膚科学・清水	講義
14	外表再建	再建の基本的な考え方と様々な再建方法	皮膚科学・清水	講義
15	褥瘡・潰瘍	褥瘡や潰瘍の原因と対策、創傷治癒の基本	皮膚科学・後藤	講義
16	全身疾患に伴う皮膚病変	全身疾患の診断や状態把握に役立つ様々な皮膚病変	皮膚科学・梅木	講義
17	腫瘍皮膚疾患	皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍の種類、診断、治療（ダ ーモスコピー所見を含む）	皮膚科学・石川	講義 実習
18	膠原病	膠原病や血管炎に伴う皮膚病変の診断と治療	皮膚科学・梅木	講義
19	水疱症	自己免疫疾患の種類、病態、診断、治療	皮膚科学・梅木	講義

【アクティブラーニングの内容】

適宜課題を設定し、レポートを提出させる。
講義の最後に、講義内容に即した臨床問題を提示
し、学生同士での議論をしてもらう。

【その他の工夫】

なるべく多くの皮疹や病理写真を呈示し、視覚的に理解で
きるように工夫する。

【時間外学修の内容と時間の目安】

8時間程度を予定している。各自の講義内容の整理、復習の他に、講義・実習中に、適宜、学習課題を設定する。
学習課題によってはレポートを課す。

<p>【教科書】 あたらしい皮膚科学（清水宏、中山書店、2018年）、標準皮膚科学（岩月啓氏、医学書院、2020年）</p>		
<p>【参考書】 Lever's Histopathology of The Skin (D.E.Elder, R.Elenitsas, M.Rosenbach, et al. Wolters Kluwer, 2015)、最新皮膚カラーアトラス（玉置邦彦、中山書店、2008年）、ダーモスコピーハンドブック（大原國章、田中勝、秀潤社、2005年）、皮膚外科学（中川浩一、大原國章、伊藤孝明、秀潤社、2020年）、実践皮膚病理診断（新井栄一、土田哲也、金原出版、2017年）</p>		
<p>【成績評価の方法及び評価割合】 試験と提出レポートを主体に評価する試験とレポートの割合は、概ね8：2とする。講義中の議論に活発に参加した学生には加点を考慮する。</p>		
<p>【注意事項】 不正を見つけた際には、評価に於いて大きなペナルティーを課す。</p>		
<p>【備考】</p>		
教員の実務経験の有無	○	医師
教員以外で指導に関わる実務経験の有無	×	
実務経験をいかした教育内容	皮膚科、形成外科に関する疾患の診断、治療方針について指導する。	
授業形式	対面授業	